



その「物語」の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.104

a taste of Ya'ssy

田中 康夫



Ya'ssy

たなかやすお ●'56年生まれ。新党日本代表、作家。「00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、「09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選、1期務める。【公式ブログ】<http://tanakayasuo.net/>

「ベルリンの壁」が崩壊したのは、東ドイツ＝旧ドイツ民主共和国建国40周年に当たる1989年＝平成元年11月9日。日本では逆に同年7月23日投票の参議院選挙で与野党連携の「衆参ねじれ」現象が生じ、爾来24年間で首相17人の「量産」に至ります。

『グンバイ、レーニン！』は2003年2月公開。観客数600万人を超え、13人に1人の新生ドイツ国民が劇場で鑑賞した「オスタルギー」＝「東オスト＋郷愁」ノスタルギーが題材のドイツ映画。

夫が西ベルリン亡命後も、社会主義国家・東独の繁栄を信じて疑わなかつた共産圏版ホーリスカウト＝ピオネール指導員のクリスティアーネは、建国40周年記念式典に勤告された息子は、昔の瓶に中身を詰め替え、取り繕います。

けれども、集合住宅の向かい側にコカ・コーラの垂れ幕が掲げられ、広場の中古車屋にも自由主義アレックスと遭遇。心臓発作で倒れ、昏睡状態に陥ります。

8か月後、奇跡的に覚醒するもベッドに横たわる母親は、西側資本のチャーンストアへ国営食料品店が姿を変え、最早、東独製のコヒーもピクルスも手に入らない

「ノスタルギー」が味わえる東都随一のドイツ料理店

今週の逸品



牛肉のロール巻 シュペッツレと赤キャベツ添え
2800円

野田浩貴氏が営むツム・AINHORNはドイツ料理＆ワインに対する先入観を良い意味で裏切ってくれる。ライン川を挟んで仏領のアルザスは優秀な料理人を輩出する地としてパリでは認識。連載101回目のローブ

リューでも言及したシャルキュトリーニ食肉加工品としてのソーセージに留まらず、シュペッツレなる呼称の卵巣と赤キャベツを添えた牛肉のロール巻を食したなら驚歎。接客も含めドイツ料理への評価一変を保証。

ツム・AINHORN 東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビルB1 ☎03-5563-9240 営11:30~14:00、17:00~22:00、土曜は夜のみ 日祭定休 禁煙 <http://www.zum-einhorn.co.jp>

illustration by Hajime Anzai

に堪え切れず、“理想郷”を求めて脱出した西独の難民を東独が受け入れている西独の映像を。その東独が西独に統合され、ベルリンの旧帝国議会場前で記念式典が1990年10月3日に執り行われて程なく、母親は永遠の眠りに就きます。奇しくも建国41周年に当たる10月7日の前日に。

旧ソビエト社会主义共和国連邦を含む東欧社会への追憶＝オスター＝ギーは所詮、落ち零れの僻み節と冷笑するのは簡単。が、皮肉にも四半世紀近くを経て米英仏の政府と議会は失業と治安を改善し得ず、巨額の収益を各国で上げながらも納税を「回避」する、多国籍企業ならぬ「無国籍企業」へと変容したアップル、アマゾン、グーグル、スター・バックスに象徴される新自由主義経済の“グレムリン”に切歎扼腕。1648年のウエストファリア条約で相互の領土尊重し、内政への干渉を控え、近代へと踏み出した「国民国家」の在り方が問われています。

「ツム・AINHORN」は東都随一のドイツ料理店。ビヤホールのドリンク、独語でザワークラウトを添えたアイスバイン＝塩漬け豚スネ肉の煮込みを始め、我々が国境を越えて求めていた「ノスタルギー」が味わえる逸軒です。

市場原理主義が齎した格差社会

次第に説り始めます。壁崩壊後にTV修理工から衛星アンテナの営業マンに転職したアレックスは、仕事仲間の協力を得て、以下の二ユース番組を制作します。

「（ドム・AINHORN）は東都隨一のドイツ料理店。ビヤホールのドリンク、独語でザワークラウトを添えたアイスバイン＝塩漬け豚スネ肉の煮込みを始め、我々が国境